

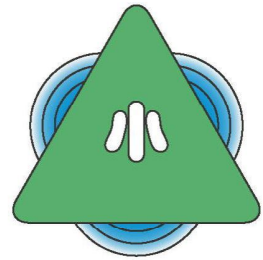
鳥 海 の 子

HP
用
コ
ー
ド



～明るく・かしこく・たくましく～

令和8年度 学校報 No.23 文責 校長 吉田 哲哉
コミュニティ・スクールだより
由利本荘市立鳥海小学校 令和8年10月16日



後期(在校生97日間・卒業生92日間)が始まりました

4日間の休みを楽しく安全に過ごし、元気に登校してきた子どもたち。通知表に記載した前期におけるがんばりをもとに、各家庭において今後一層力を入れて取り組んでいきたいことを話題に挙げ、親子で確認してくださったことと思います。やる気に満ちた表情からうかがい知ることができ、大変ありがたく感じました。

始業式において、前期のがんばりをどのように後期につなげていくか、私からは次のような話をいたしました。

みなさん、おはようございます。今日から後期が始まりました。まずは、前期のみなさんのがんばりをもう一度褒めたいと思います。運動会に飛鳥祭といった行事や友だちとの勉強や地域の方々との学習など、みなさんはたくさんの場面で「つなぐ」ことを大切にしてきました。友だちとつながり、学びとつながり、地域とつながることができました。みなさん一人一人の頑張りのおかげで、鳥海小学校にはたくさんの笑顔や感動が生まれました。

さて、後期のスタートにあたり、今日は「つないだものを広げよう」という話をします。校長先生は、「つなぐ」という言葉は、手をつないで終わりではないと思っています。つながったら、その先があります。例えば、友だちとつながったらどうなるでしょう。仲よくなるだけではありません。一緒に考えたり、一緒に挑戦したり、お互いに助け合ったりできるようになります。

学びも同じです。前期にできるようになったことをもとにして、さらに難しいことへチャレンジできます。つまり、つながりはみなさんを成長させる力になるのです。

地域とのつながりもそうです。地域の方々から教えてもらった鳥海の自然や文化、伝統や歴史。それを知るだけで終わるのではなく、「もっと知りたい」「もっと伝えたい」という気持ちにつなげてほしいと思います。みなさんは、鳥海のすばらしさを未来へつなぐ大切な人たちです。

後期も、マラソン大会やスキー教室、なわとび集会、ありがとう集会など、様々な活動があります。成功することもあるでしょう。失敗することもあるでしょう。でも、失敗は決して悪いことではありません。挑戦した人だけが経験できる大切な学びです。

校長先生は、後期のみなさんに三つのことを期待しています。

一つ目は、「自分から動くこと」です。誰かに言われる前に自分で考えて行動してみましょう。

二つ目は、「友だちを大切にしながら挑戦すること」です。嬉しいときも、困ったときも、いつでも友だちと支え合って、どんなことにも挑戦しようという気持ちを大切にしてください。

三つ目は、「最後まであきらめないこと」です。できるかどうかではなく、やってみることに価値があります。みなさんには、その力があります。

後期も、「つなぐ」を合言葉にしながら、一人一人のよさをつなぎ、みんなの力をつなぎ、鳥海小学校をもっとすてきな学校にしていきたいと思います。そして、後期の終わりに「今年は本当に楽しかった」「自分は成長できた」と胸を張って言えるような毎日と一緒につくっていきましょう。鳥海小の職員全員、みなさんの挑戦を応援しています。

後期も同様に、保護者とご家族の皆様からのご理解とご協力をよろしくお願いします。

「第54回科学作品展」で入賞したみなさんです



賞状披露を行っていませんが、学校報20号では受賞者の名前と作品名しか記載しておりませんでした。後日紹介することを約束しておりましたので、改めてお知らせいたします。

【上段：優秀賞／下段：優良賞】

鳥海小学校

マラソン大会について

お知らせ

走ろう
つながろう
みんなのえがお!

最後まで
あきらめずに
がんばろう!

がんばる
みんなが
かっこいい!

- 日時** 令和〇年 10月23日(金)
- 場所** 鳥海小学校マラソンコース
- マラソンの期間** 10月7日(水)～10月22日(木)
大会に向けて、毎日の練習を積み重ねましょう!
- 賞状について** 次の学年・種目の1～3位の人に賞状が贈られます。

1 1・2年生	2 3・4年生	3 5・6年生
男子 1位～3位 女子 1位～3位	男子 1位～3位 女子 1位～3位	男子 1位～3位 女子 1位～3位

入賞を目指して練習をがんばりましょう!

努力は力になる!
自分のベストタイムを目指して、
最後まで走りぬこう!

鳥海小学校

来週実施予定の「マラソン大会」について、体育主任が生成AIにキーワードを伝えて作成したポスターです。開催日時が「令和〇年」となっておりますが、内容は今年度のものであります。ぜひお越しいただき、歯を食いしばってゴールを目指す子どもたちを応援していただけると大変ありがたいです。

右側にある二枚のチラシは「子どもを性暴力からまもるための取り組み」で、保護者の方に周知するために、こども家庭庁から届いたものですのでご覧ください。

子どもを性暴力からまもるための取り組み

子どものために できること?

保護者の方
子どもと関わる
大人の皆さまへ

**子どもをまもろう
みんなでまもろう**

子どもへの性暴力は、身近な人でも気づきにくいもの。
子どもが受けるサインにいち早く気づくよう
周囲の大人が日常的に目を配ることが必要です。
子どもが相談しやすい環境をつくることで
みんなで子どもを性暴力からまもりましょう。

こども家庭庁
こども家庭庁

性暴力とは 個人の尊厳を著しく踏みにじる重大な人権侵害であり、
犯罪になり得る行為です。

保護者のみなさまへお願い

日頃からよくコミュニケーションを取りましょう

子どもへの性暴力は、身近な人でも気づきにくいもの。
子どもの言葉やSOSに、大人がいち早く気づくことが大切です。

子どもへの性暴力は
この3つが特徴です

- 1 深刻さ
- 2 相談のしづらさ
- 3 発見のしづらさ

日頃から子どもと話しておくこと

- 水着で隠れる部分(プライベートゾーン)は、自分も相手もお互いに見せない・触らせない
- イヤな触れ方をさせようとなるときは、「イヤだ」「やめて」と断る・拒否する
- 「イヤだ」「やめて」と断えなかったとしても、あなたは悪くない
- イヤなことをされたら、すぐに大人に相談する

子どもが隠れられたら「どうしたの?」と声をかけてみましょう

- 不審(不安)がし、強い不安を感じるなど
- 集中力の低下、ぼんやりする
- 自信喪失、自己卑下
- 人との距離の変化

こどもから性被害の相談を受けた時の対応

「誰に話してあげよう」「あなたに話さないよ」と伝え、隠れながら話させず、お話を聞いてあげてください。
お話を聞いてあげた後、こどもが相談先に困るのを防ぐため、お話を聞いてあげてください。
お話を聞いてあげた後、こどもが相談先に困るのを防ぐため、お話を聞いてあげてください。

相談先

#189 #8891 #8103

「子どもを性暴力からまもるための取り組み」は、学校や児童館、児童相談所やスポーツクラブなど、こどもが安心して相談できる場所や関係機関との連携による取り組みです。こうした相談・支援には、関係機関の連携・協力や、関係機関の連携・協力が必要です。

犯罪被害がある、性暴力のおそれがあるなどの判断の下、子どもと接する環境に置くことができなくなります。